

博物館・美術館等保存担当学芸員研修(上級コース)^(ホ08)

研究組織 建石徹、朽津信明、犬塚将英、早川典子、佐藤嘉則、秋山純子、芳賀文絵、島田潤、相馬静乃(以上、保存科学研究センター)、水谷悦子(保存科学研究センター併任、文化財防災センター)ほか

目的 1) 文化財の担当者研修、博物館・美術館等の保存担当学芸員研修を行う。
2) 研修の体系を完成させるとともに、研修受講生を対象としたアンケート及び派遣元自治体を対象とした研修成果の活用状況に関するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ研修計画を策定する。

成果

1. 第1回博物館・美術館等保存担当学芸員研修(上級コース)を実施した(7月5～9日、受講者16名)。
2. 今年度より基礎的な内容の講習を文化財活用センターが担当し、保存科学・保存修復関連の各論を当所の各研究室が受け持つ形となり、それぞれ基礎コースと上級コースに分かれて実施した。
3. 上級コースでは以下の講義を実施した:文化財の科学調査(分析科学研究室)、文化財IPM・生物被害対策(生物科学研究室)、屋外資料の劣化と保存(修復計画研究室)、保存環境に関する理論と実習(保存環境研究室)、多様な文化財の保存と修復(修復技術研究室)、修復材料の種類と特性(修復材料研究室)、文化財修理の実務、博物館の防災。
4. 研修終了後にカリキュラム各項目の理解度や有用度、今後の要望等に関するアンケート調査を行った。参加者から有益と評価された。



多様な文化財の保存と修復に関する講義

文化財の収集・保管に関する指導助言^(シ)

研究組織 塩谷純、二神葉子、江村知子、小林達朗、小林公治、小野真由美、安永拓世、橘川英規、小山田智寛、米沢玲、吉田暁子(以上、文化財情報資料部)

目的 これまでに蓄積された文化財に関する調査・研究の成果を生かし、国や地方公共団体からの要請に応じて、専門的な見地からその収集・保管等に関する指導助言を行うことにより、文化財保存の質的向上に貢献する。

成果

1. 文化庁アートプラットフォーム事業によるデータベース「日本の画廊調査 1945年以降(仮称)」の公開に向けた効率的な画廊情報の収集支援
2. 文化審議会世界文化遺産部会臨時委員
3. 国立歴史民俗博物館運営会議委員・資料収集委員会委員
4. 国際交流基金・欧米ミュージアム基盤整備支援事業評価委員
5. 熊野速玉大社所蔵の国宝古神宝類に関する保存・現状調査・保存計画の協議と助言
6. 八尾市史の編纂に関する助言
7. 田辺市立美術館での講演
8. 和泉市立久保惣記念美術館での講演
9. 美術史学会への『美術史』ウェブ公開にむけての情報提供・助言
10. 文化財調査に関する協力・助言
茨木市立文化財資料館、春日大社、岐阜市歴史博物館、慶應義塾大学ミュージアム、角屋もてなしの文化美術館、甲賀市教育委員会、東京大学総合図書館、徳川美術館、南蛮文化館、広島県立美術館、大和文華館、和歌山県立博物館、田辺市立美術館、逸翁美術館、馬事文化財団、和泉市立久保惣記念美術館